

令和 5年 2月 7日14時00分
近 畿 地 方 整 備 局
琵琶湖河川事務所

「天ヶ瀬ダム再開発事業完成式典」を開催します

淀川水系宇治川で実施している天ヶ瀬ダム再開発事業の完了にあたり、事業にご協力いただいた関係者の皆様に感謝を申し上げる「天ヶ瀬ダム再開発事業完成式典」を、以下のとおり開催いたしますのでお知らせいたします。

○日 時： 令和 5年 3月12日(日) 午前11時00分～12時00分

○会 場： 京都府宇治市宇治^{うじかないど}金井戸地先 (※別紙-1参照)
トンネル式放流設備ゲート室部前広場 (旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地)

○主 催： 国土交通省 近畿地方整備局

○次 第： 開会の辞、式辞、祝辞、来賓紹介、祝電披露、事業経過報告、
テープカット・くす玉開披、閉会の辞 等

○取 材： 取材希望の方は、別紙-2 の取材についてのお願いをご確認のうえ、2月14日(火)
12時までに別紙-3 取材FAX申込書、または電子メール(kkr-biwakokasen@mlit.go.jp)
にてお申し込みください。

○その他 式典の様様については、後日琵琶湖河川事務所HPにて報告します。
<https://www.kkr.mlit.go.jp/biwako/index.php>

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら開催します。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、京都府政記者クラブ、
滋賀県政記者クラブ、宇治日刊記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所
副所長 原田 豊彰 (はらだ とよあき)
事業対策官 唐松 雅司 (からまつ まさし)
TEL:077-546-0844(代表) FAX:077-546-6672

天ヶ瀬ダム再開発事業完成式典 会場地図



【アクセス】

- ・宇治市役所から宇治橋西詰を右折、府道大津南郷宇治線を東に約2.9km
- ・宇治東ICから宇治橋西詰を左折、府道大津南郷宇治線を東に約2.9km

取材についてのお願い

報道関係者は、下記により円滑な進行にご協力くださいますようお願い致します。

■事前登録

取材を希望される方は、2月14日(火)12時迄に以下の方法により事前登録をお願い致します。

<FAXによる申し込み>

別紙3「取材FAX申込書」に必要事項を記入のうえ、琵琶湖河川事務所総務課宛にFAXにて申し込みいただきますようお願い致します。

<電子メールによる申し込み>

メール本文に①貴社名、②ご担当者の氏名(ふりがな)・所属部署名等、③同行者名(ふりがな)、④ご連絡先(住所・電話番号・FAX番号)※駐車証の郵送先、⑤車両番号を記入のうえkkr-biwakokasen@mlit.go.jpまでご送付ください。

なお、受信アドレス指定がされていないメールアドレスから申し込みください。

■その他

- ・10時00分より受付を開始いたします。
- ・当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用いただきますようお願いいたします。
- ・式典挙行上の都合により、内容・時間が変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お車でお越しの場合は、後日送付する「駐車証」をお車のフロントガラスから見える位置に置いてください。「駐車証」がない場合は、入場をお断りする場合がございます。
- ・駐車スペースに限りがありますので、乗り合いでの来場にご協力をお願いいたします。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策について
 1. 密をさけるため、各社最小限の人数でお願いいたします。
 2. 当日は感染予防のためマスクを着用ください。
 3. 以下の症状がある場合はご来場をお控えいただきますようお願いいたします。
 - ①風邪の症状や体温が37.5℃以上または平熱より1度以上高い場合、同居者に発熱がある方
 - ②強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方
 4. 当日は受付前に検温をさせていただきます。発熱など体調に不安がある方は、取材をお断りする場合があります。

取材 FAX 申込書

天ヶ瀬ダム再開発事業完成式典

琵琶湖河川事務所 総務課 宛

FAX番号 : 077-546-5759

貴社名	
(ふりがな) ご担当者氏名	氏名 () 所属部署名等
(ふりがな) 同行者名	氏名 () 氏名 ()
ご連絡先	住所 〒 電話番号 () FAX番号 () ※受信アドレス指定がされていないメールアドレスを記入ください。 E-mail
その他	※車両番号の事前登録をお願い致します。 (車両番号:)

※駐車場のスペースに限りがありますので、乗り合いでの来場にご協力をお願いします。

※当日迄に「駐車証」を送付する予定です。

当日は、必ずフロントガラスから見える位置に「駐車証」を置いてご来場下さい。

※当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用いただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 総務課

TEL 077-546-0844(代表)

※送付状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXして下さい。【2月14日(火)12時締め切り】

天ヶ瀬ダム再開発事業概要

- ◆ 既存天ヶ瀬ダムにトンネル式放流設備を新設し、治水・利水の機能を増強
- ◆ ダムの放流能力を高めることで、ダムの容量をより効率的に活用

■ トンネル式放流設備の建設（放流能力の増強）



■ 天ヶ瀬ダム再開発事業の経緯

- | | | |
|----------|-------|-----------------------------------|
| 調査
予備 | 昭和28年 | 台風13号により甚大な被害を受ける |
| | 昭和29年 | 淀川水系改修基本計画決定 |
| | 昭和39年 | 天ヶ瀬ダム完成 |
| | 昭和40年 | 台風24号等における洪水により甚大な被害を受ける |
| | 昭和44年 | 京都府営水道より0.6m ³ /sの増量申請 |
| | 昭和46年 | 淀川水系工事実施基本計画の改訂 |
| | 昭和47年 | 関西電力(株)より夏期の増加申請 |
| | 昭和50年 | 予備調査着手 |
| | 平成元年 | 建設事業着手 |
| | 建設 | 平成 7年 |
| 平成 9年 | | 河川法改正 |
| 平成10年 | | 工事用道路着手 |
| 平成19年 | | 淀川水系河川整備基本方針策定 |
| 平成21年 | | 淀川水系河川整備計画策定 |
| 平成23年 | | 基本計画変更(国土交通省告示第249号) |
| 平成25年 | | トンネル本体工事着手 |
| 平成26年 | | 基本計画第2回変更(国土交通省告示第565号) |
| 平成29年 | | 基本計画第3回変更(国土交通省告示第348号) |
| 令和 2年 | | 基本計画第4回変更(国土交通省告示第733号) |
| 令和 3年 | | トンネル式放流設備概成 |
| 令和 4年 | | 8月 運用開始 |
| 令和 5年 | | 天ヶ瀬ダム再開発事業完成 |



事業効果とトンネル式放流設備の概要

淀川水系の治水効果

- 宇治川における1,500 m^3/s の河道改修、大戸川ダムとの整備と合わせて、天ヶ瀬ダムからの放流量を1,140 m^3/s に増強させることで、洪水を安全に流下させることができます。
- 淀川本川の水位低下を確認した後に、宇治川において整備された河道を利用して1,500 m^3/s の後期放流を実施することで、琵琶湖の後期放流を早期に完了させることができ、次の洪水に素早く備え、琵琶湖周辺の浸水被害を軽減させることが可能となります。

京都府の水道用水の確保

- 京都府南部の水道用水について、水利権0.9 m^3/s のうち0.6 m^3/s が天ヶ瀬ダム再開発事業を前提とした暫定豊水水利権であり、安定的な確保が可能となります。

発電能力の増強

- 喜撰山ダムに送る夏場の発電容量を380万 m^3 から521万 m^3 に増量し、安定した電力をつくれるようになります。

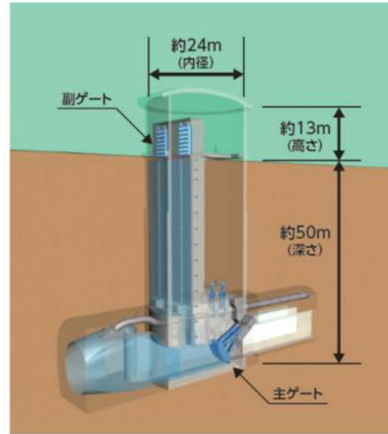
流入部



流入部は、ダム湖から水を取り込む入り口です。また、流入部上部にある上屋には、修理用ゲートが取り付けられており、トンネル式放流設備(導流部)点検や修理の際に、流水を遮断します。



ゲート室部は直径約27m、地上から深さが約50mもある円筒形の構造物です。その中に、放流する水の量を調整する主ゲートと副ゲートをそれぞれ2門備えています。ゲート室部の建物は、周辺との調和をコンセプトにしたデザインを採用しています。



ゲート室部 立体図



主ゲート部の構造



減勢池部
(主ゲート下流から吐口部を望む)

流れを丸から四角へと変えます。

2つのゲートで流量調節するため、流れを二股に分岐させます。

高水圧に耐え放流量を調節する、トンネル式放流設備の“要”です。